

# T&D保険グループ中期経営計画 (平成28年度～平成30年度)

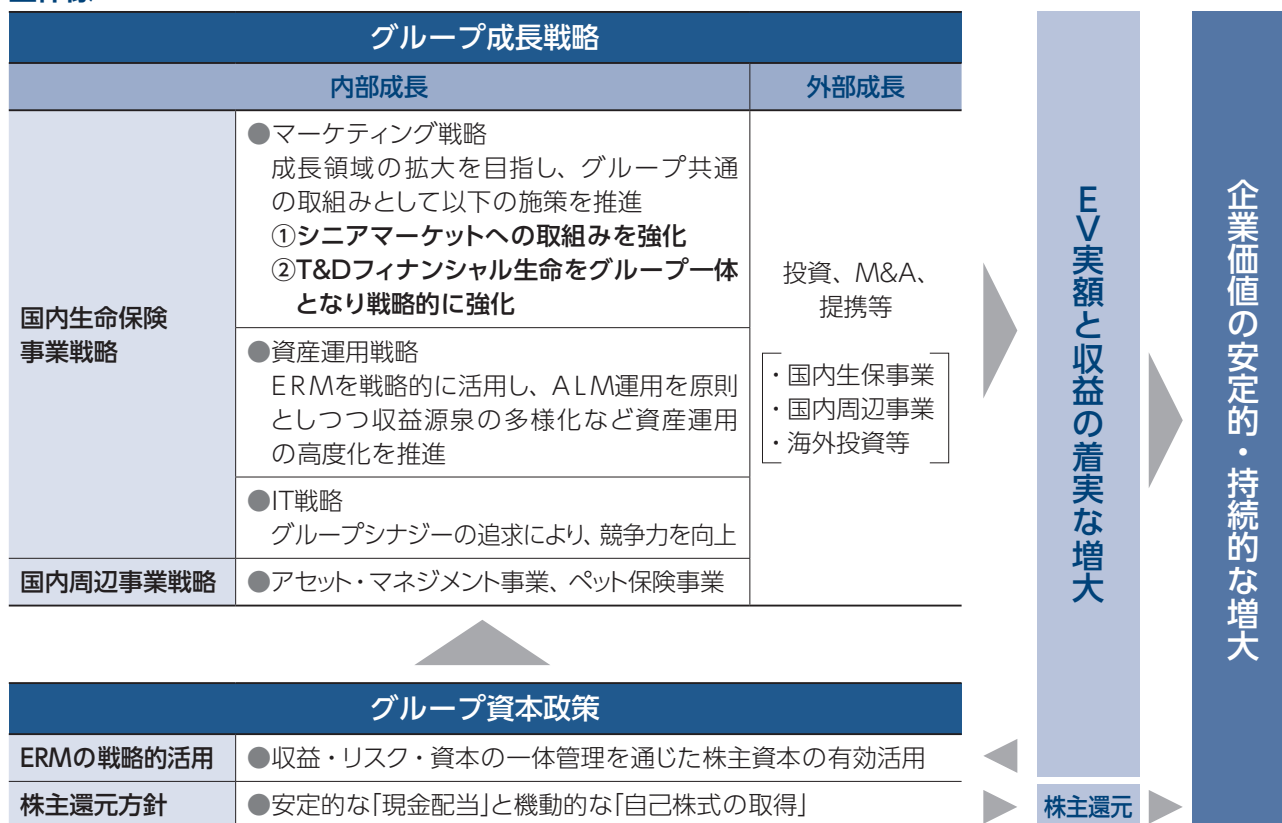
T&D保険グループでは、平成28年度から平成30年度までの3か年のグループ中期経営計画「Try & Discover for the Next Stage ～成長領域拡大の3年～」に取り組んでいます。

本中期経営計画は、今後10年を見据えたファーストステージの3年間と位置づけ、以下の全体方針のもと、中核生保3社が特化したマーケットにおいて独自性・専門性を最大限発揮することで、グループ企業価値(EV)の安定的・持続的な増大を実現していきます。

## 本中期経営計画の全体方針

- 国内生命保険事業をコアとし、確立された基盤に加え、成長領域をさらに拡大すべく、シニアマーケットと乗合代理店チャンネルへの取組みを強化する。
- 国内生命保険市場における競争力強化・シェア拡大、収益力向上に向け、提携やM&Aの機会を追求する。
- ERMの戦略的活用により、株主資本の有効活用を推進し、健全性を確保しつつ高い収益性を実現する。

## 全体像



## 主要経営指標

|          |   |
|----------|---|
| 企業価値(EV) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度末 <b>EV 2兆4,000億円</b> (対平成27年度末 +5,000億円以上)</li> <li>・平成30年度 <b>新契約価値 1,000億円</b> (対平成27年度 +400億円以上)</li> </ul> [EV成長率(ROEV)7.5%を超える安定的・持続的な成長] |
| 利益(財務会計) | 平成28年度～平成30年度 <b>実質利益 850億円程度</b>   |

(\*1) 上記経営指標は、金融環境等の外部環境の前提が設定時の水準から大きく乖離することなく推移することを仮定しています。また、計画策定時点に行った将来の予測等が含まれており、様々なリスクや不確実性が内包されていることから、将来の実績が上記指標と大きく異なる可能性がある点をご承知置きください。

(\*2) 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額を加算して算出しています(税引後)。

# 大同生命中期経営計画

(平成28年度～平成30年度)

グループ中期経営計画全体方針を踏まえ、当社では、中小企業市場の「さらなる深耕」と「新たなマーケットの創出・拡大」によりコアビジネスを強化するとともに、営業活動および事務の業務革新を通じて、お客さまサービスと生産性・効率性の向上を図ることで、「安定的・持続的な企業価値の向上」を実現していきます。

## “安定的・持続的な企業価値の向上”の実現に向けたビジネスモデルの強化

伝統的にコアビジネスとしてきた分野

企業保障との一体的な推進により、  
新たな市場を開拓

死亡保障を中心とした  
企業保障の提供

企業経営者・個人事業主の  
事業承継・相続対策を  
はじめとする  
幅広い保障ニーズの取込み

質の高いコンサルティング  
サービスを実践できる  
販売チャネルの拡充



営業活動・事務の業務革新による  
お客さまサービスの充実

就業不能保障をはじめとする  
生存中のリスクに対応した  
企業保障の提供

高齢者層をはじめとする  
より幅広い被保険者層の  
ニーズの取込み

多様化する企業保障ニーズに対応した  
保障提供により、市場を深耕

社会環境の変化を踏まえ、  
より幅広いお客さまニーズに対応